

農業機械化技術の開発普及に 期待すること



有限会社アグリ山崎 代表取締役 山崎正志

豊饒な大地の中で



坂東市について

- ①茨城県の南西部
- ②首都圏50km圏内
- ③年平均気温

15°C

年間降雨量

1,293mm

比較的温暖な地域です。

坂東市は、平成17年3月22日に
岩井市と猿島町が合併して誕生しました。



私のあゆみ

昭和62年 カリフォルニア米の視察が転機に！



- ①**1,000ha 規模**
- ②**セスナ機や大型コンバイン が大活躍**
- ③**農業者が「生産から販売まで」**
を一貫して行っている

～ おりしも日本では、
食糧管理法(通称:食管法)も緩和される方向にきていた…

昭和62年 化学合成農薬・化学肥料を使わない農法を開始

平成 4年 米穀小売店の許可を取得
消費者への直接販売を開始

平成 8年 農業生産法人「(有)アグリ山崎」を設立

有機農業の取り組み

昭和44年 後継者として、就農

昭和62年 カリフォルニア米の視察

化学合成農薬・化学肥料を使わない米づくりを
開始

平成 4年 米穀小売店の許可を取得
～消費者へ、直接販売を開始～

平成 8年 農業生産法人「(有)アグリ山崎」を設立

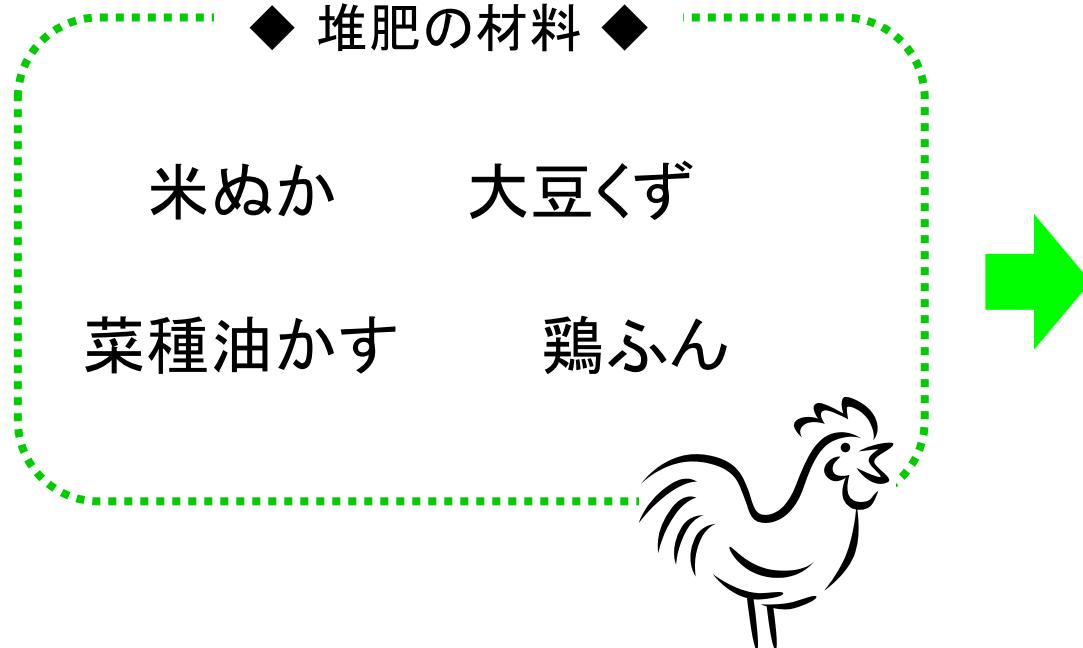
平成12年 改正JAS法に基づく有機検査認証制度で
県内初めて認証

農薬や化学肥料に
頼った農法に
疑問を感じていた・・



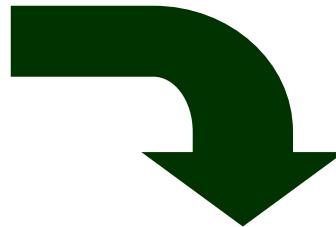
有機栽培における土づくり

- 1) 水田から持ち出したものは、極力水田へ返す
(稲わら・もみ・米ぬかなど)
- 2) 地域の畜産農家と連携して、堆肥を生産する



毎年2月に
水田に散布する
(150kg/10a)

有機栽培における病害虫対策



種子消毒は温湯消毒で



温湯60°Cに
10分間浸漬する

有機栽培における雑草防除



高精度水田用除草機

ここがポイント！
機械除草



代かき

田植え

活着

中干し

出穂

収穫

①代かきは2回

②田植え後5~6日の
機械除草

③その後2~3回機械除草

④その後は…
手取り除草！



株間除草ツース
(揺動するレーキ)

条間除草ロータ
(高速回転)



有機栽培における水管理



代かき

田植え

活着

中干し

出穂

収穫



◆ 活着後、出穂期まで **深水管理** にする



◆ 深水管理の目的 ◆

- ① 雜草を防除する
- ② 茎を太くする
- ③ 穂を大きくする
- ④ 倒伏を防止する

有機栽培における生き物との共生



有機栽培の水田は
生き物が豊富



持続可能な農業への挑戦

食味重視の米づくり「収量目標510kg/10a」

～ 収量重視の米づくりは、食味低下につながる～

土づくり

- 圃場から持ち出したものは、極力水田へ還す
- 堆肥は、地域の畜産農家と連携し生産する



深水管理

- すべての水田で活着後、出穂期まで実施
- 「除草」「茎を太くする」「穂を大きくする」「倒伏防止」の効果をねらう



経営の合理化への工夫

1) 省力化の工夫

慣行栽培では・・・

- ・播種量 120g/箱
- ・植え付け本数
2~3本
- ・株間 17~18cm
- ・作期分散

新技術による省力化

平成19年 湿水直播栽培技術の導入

平成26年 **60 ha** のうち、湿水直播は5.0 ha
疎植移植は**30 ha**

2) 経営の多角化

- ・経営の複合化(麦・大豆)
- ・冬季の暗きよ工事請負

建築土木工事の
技術習得

特別栽培に取り組むため、
湿水直播栽培を選択



農業機械化技術の未来へ期待すること

1) スーパー圃場の構築

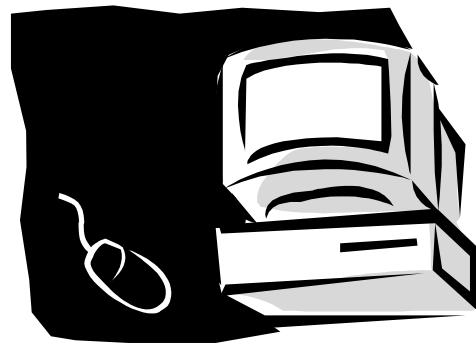


2) ロボットによる田んぼの管理

ex. アイガモロボット



3) ITによる経営



そして…

国産米を世界へ…





ご清聴ありがとうございました